

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191500042		
法人名	株式会社 ケアフル・ケア		
事業所名	グループホーム セセラギ		
所在地	佐賀県西松浦郡有田町応法丙3902		
自己評価作成日	平成24年10月12日	評価結果市町村受理日	平成25年1月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html">http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	平成24年10月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームの介護サービス理念の「5つのならば」を毎朝朝礼で唱和し、勤務者は1日の目標を記入し仕事を始めるようにしています。ただ、漠然と仕事をするのではなく、目的をもって1日の仕事をするようにしています。また、介護はサービス業であり、お客様が満足して頂けるようなサービスを日々モットーに頑張っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

焼き物の町の郊外に位置し、木々に囲まれ自然豊かな環境の中にあるホームである。地域行事にも積極的に関わりをもたれ地域の信頼も厚く、相互の関わりも良好である。ホームとは別に、今後住み慣れた地域でいつまでも暮らせる事のお手伝いとして、デイサービスや宅老所の開設も予定され、地域の介護サービスの拠点を目指されているところである。入居者お一人お一人を人生の先輩として敬い、プロ意識を持って最高のサービスを提供し、選ばれるホームとなる様取り組まれている。また、2ユニットのホームの独自性と、管理者、ホーム長、ユニット長がそれぞれの役割を尊重され、『5つのならば』の実現に向け日々努力されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印			項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印				
	黒髪	龍門			黒髪	龍門			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない					

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当ホームの介護サービス理念「5つのならば」を毎日朝礼で唱和し、職員すべてが理念に沿った介護をするよう心がけています。	当ホームの介護サービス理念「5つのならば」を毎日朝礼で唱和し、職員すべてが理念に沿った介護をするよう心がけています。	毎日朝礼で唱和され、日々理念を確認し、理念の実現に向け努力されている。管理者、ホーム長を中心に、職員全体でその理念は共有され、地域の介護サービスの拠点となる様努められている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方が草はらいや畑仕事、植木の手入れなど手伝ってくださいます。また、地域の祭りの際も利用者様と地域の方と食事やくじ引きなど楽しんだりしました。地区の清掃活動も参加しています。	地域の方が草はらいや畑仕事、植木の手入れなど手伝ってくださいます。また、地域の祭りの際も利用者様と地域の方と食事やくじ引きなど楽しんだりしました。地区の清掃活動も参加しています。	管理者を中心に、清掃活動、お祭りなどの地域行事には積極的に参加され、地域の一員としてホームが理解されている。また、ホーム行事への地域の参加や野菜の差し入れがあるなど、日頃からの交流も活発に図られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	区長様と話し合いの段階ですが、地域の方がこの先認知症サポーターになって頂き、高齢者の地域で安心して生活ができるお手伝いができたらと考えています。	区長様と話し合いの段階ですが、地域の方がこの先認知症サポーターになって頂き、高齢者の地域で安心して生活ができるお手伝いができたらと考えています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方、ご家族様、行政の方の意見をお聞きしながら、職員会議などで話し合い、今後のあり方を考え改善しながら面会の際などにお伝えするように心がけています。	地域の方、ご家族様、行政の方の意見をお聞きしながら、職員会議などで話し合い、今後のあり方を考え改善しながら面会の際などにお伝えするように心がけています。	2ヶ月に1回開催され、家族会代表、民生委員、区長、地域包括、市町からの参加があり、ホーム行事の報告の他、情報交換、意見の収集の場としても活用され、出された意見はサービスに活かすよう努められている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	現在に空室・待機状況など報告し、研修や会議などには積極的に参加し、交流を図るようにしています。	現在に空室・待機状況など報告し、研修や会議などには積極的に参加し、交流を図るようにしています。	町の研修へ講師を派遣したり、日頃から、町とは気軽に相談できる関係が構築されている。今後、町の協力のもと、認知症サポーター養成講座を開催される予定である。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間の戸締り以外は、常に自由に出入りが出来るようになっています。利用者様が自由に散歩出来る様な環境作りに努めています。	夜間の戸締り以外は、常に自由に出入りが出来るようになっています。利用者様が自由に散歩出来る様な環境作りに努めています。	職員が目配り、気配りを徹底し、入居者が自由に出入りできる環境を整えられている。どういう事が身体拘束にあたるのか、その弊害の理解も含めた研修の場を設け、身体拘束のないケアに日々努められている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	一年間の研修計画表の中に、虐待についての勉強会を設け、防止に努めている。	一年間の研修計画表の中に、虐待についての勉強会を設け、防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修などに参加し、理解し活用できるように努めています。	研修などに参加し、理解し活用できるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明し、納得して入所して頂けるように努めます。	契約時に説明し、納得して入所して頂けるように努めます。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様・ご家族様にアンケートを実施、また家族会などで意見・要望等を改善できるようにしました。	利用者様・ご家族様にアンケートを実施、また家族会などで意見・要望等を改善できるようにしました。	アンケートの他、家族の面会も多く、面会時の会話の中から、意見や要望を聞き取る様努められている。年2回の家族会の折には、家族だけで話し合う場を設けられ、率直な意見が出されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談の機会を設け、職員の意見を聞くように心がけている。また、ユニット長はユニット会議にて職員の話聞き、管理者会議で報告・改善するようにしています。	個人面談の機会を設け、職員の意見を聞くように心がけている。また、ユニット長はユニット会議にて職員の話聞き、管理者会議で報告・改善するようにしています。	年2回の個人面談や毎月のユニット会議、管理者会議を通し、意見の把握に努められている。改善できるものについては全体での話し合いのもと、ホームの運営に活かしているよう努められている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社会保険労務士に依頼して給与水準や仕事の出来栄などを自己評価してフィードバックしながら、やりがいや昇給に活かすシステムを導入しています。	社会保険労務士に依頼して給与水準や仕事の出来栄などを自己評価してフィードバックしながら、やりがいや昇給に活かすシステムを導入しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での勉強会はもちろんのこと社外における研修も積極的に参加できるよう勤務シフトを含め環境整備に力を入れています。	法人内での勉強会はもちろんのこと社外における研修も積極的に参加できるよう勤務シフトを含め環境整備に力を入れています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県内の特に質の高いグループホームと相互に施設研修できるようにしています。	県内の特に質の高いグループホームと相互に施設研修できるようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面接の際に、ご本人様が望まれること、困っておられることなどを聞き取りし、安心して入所生活をして頂けるように努めています。	初回面接の際に、ご本人様が望まれること、困っておられることなどを聞き取りし、安心して入所生活をして頂けるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人のご要望にお応えするのは当然のことながら、ご家族を支えるのも大切なことと思いますので、困っていることに関して十分話をお聞きし、少しでも楽になって頂けるよう努めてまいります。	ご本人のご要望にお応えするのは当然のことながら、ご家族を支えるのも大切なことと思いますので、困っていることに関して十分話をお聞きし、少しでも楽になって頂けるよう努めてまいります。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントをとり、支援するよう努めています。	アセスメントをとり、支援するよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	相手の立場になり、「ならば」の精神を忘れないように心がけています。	相手の立場になり、「ならば」の精神を忘れないように心がけています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族のご協力が多く、よく面会などに来てくださいます。また、交通の不都合があるご家族様にはこちらから送迎をするなどし、対応しています。	ご家族のご協力が多く、よく面会などに来てくださいます。また、交通の不都合があるご家族様にはこちらから送迎をするなどし、対応しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅へ外出や面会など実施しながら、なじみの関係・場所が途切れないように努めています。	なじみの場所で買い物をされ、知人に会われたり、美容室などに行かれ喜ばれています。自宅へ外出した際に、近所から出前をとるなどもしています。	町内の出身の入居者が多く、家族や知人が訪問しやすい対応を心がけられている。また、自宅やお寺等への家族との外出の支援、馴染みの美容室の利用、通い慣れた店への買い物等、その関係が継続できるよう日々努力されている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格・人柄を考え支えあうよう支援しています。	居室で過ごされている際は、スタッフも訪室し、また利用者様同士話をよくされています。		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話連絡やお手紙などを送り、その後のご様子などをお聞きするように努めています。	電話連絡やお手紙などを送り、その後のご様子などをお聞きするように努めています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段より担当スタッフが主体となり、関わりを持ちながらご本人の意向を聞き、検討するよう努めています。	普段より担当スタッフが主体となり、関わりを持ちながらご本人の意向を聞き、検討するよう努めています。	日々の会話や関わりの中で、担当者を中心に、入居者及び家族の思いや意向の把握に努められている。また、ユニットで入居者に回覧板を回し、情報を流すなど、工夫して思いの把握に努められてる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを取り、支援をするように努めています。	アセスメントを取り、支援をするように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別記録やケアプランにて現状の把握に努めています。	個別記録やケアプランにて現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスにおいて、ご本人・ご家族の意見を反映し、作成するように努力しています。	カンファレンスにおいて、ご本人・ご家族の意見を反映し、作成するように努力しています。	日々の関わりの中で、本人・家族の意見や要望を引き出すよう努められている。それを担当者会議で話し合い、職員中心のプランにならないよう配慮され、定期及び随時の見直しも実施されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別申し送りノートの活用をし、情報を共有しています。	ユニットノートに記入し、全スタッフに伝えられる様に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご自宅、病院からの入所など状況に応じて、お試し入所やボランティアから入所、通いを試しながら入所、また自宅へ戻る為に支援など取り組んでいます。	ご自宅、病院からの入所など状況に応じて、お試し入所やボランティアから入所、通いを試しながら入所、また自宅へ戻る為に支援など取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	以前利用されていた近所の美容室やラーメン屋さんなどご本人が楽しく自分らしく生活が続けられる支援を行っています。	以前利用されていた近所の美容室やラーメン屋さんなどご本人が楽しく自分らしく生活が続けられる支援を行っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今までかかりつけだった病院をそのまま受診でき、安心して医療が受けられるよう支援しています。	今までかかりつけだった病院をそのまま受診でき、安心して医療が受けられるよう支援しています。	入居前のかかりつけ医のもとで継続した医療が受けられるよう支援されている。専門医の受診が必要な場合は、ホームから受診の支援が行われている。医療情報については家族や医療機関と密に連携を図られている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状況変化時は、看護師に連絡・指示を受け受診等を支援しています。	状況変化時は、看護師に連絡・指示を受け受診等を支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域連携室との連絡を密に、情報交換をするよう努めています。また、当ホームの状況などもFAXなど利用し、情報発信できるように努めています。	地域連携室との連絡を密に、情報交換をするよう努めています。また、当ホームの状況などもFAXなど利用し、情報発信できるように努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度になられる前に、ご本人様の思いやご家族の希望を聞きながら、状況が変化するたびに確認するように努めています。	重度になられる前に、ご本人様の思いやご家族の希望を聞きながら、状況が変化するたびに確認するように努めています。	ホームとしての指針を入居前に説明され、本人・家族の意向を確認されている。”思いは変化するもの”として、状態の変化に応じて随時話し合いの場をもたれ、希望されればいつでも対応できる体制をとられている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	実践力に乏しい部分もありますが、看護職員が中心となり、必要な勉強会や説明、救急時の連絡体制など備えています。	実践力に乏しい部分もありますが、看護職員が中心となり、必要な勉強会や説明、救急時の連絡体制など備えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練や災害時の通報を分かりやすく誰でも操作できるよう掲示しています。また、区長や同じ班の方とも積極的にコミュニケーションを図り何かあった場合助けて頂けるような体制作りに努めてます	火災訓練や災害時の通報を分かりやすく誰でも操作できるよう掲示しています。また、区長や同じ班の方とも積極的にコミュニケーションを図り何かあった場合助けて頂けるような体制作りに努めてます	地域の協力も得られ、火災・避難訓練については夜間想定で年2回実施されるとともに、職員会議の折に通報の手順等確認されている。	今後、防災マップも作成される予定であり、あらゆる災害時の対応についても確認されていくことが望まれる。

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄時の対応など注意して、日々支援しています。	一人一人の人格を尊重し、プライバシーを損ねない言葉かけや対応をしています。また、スタッフ同士で注意できるように声を掛け合っています。	人生の先輩として入居者を敬い、言葉遣いや対応の仕方など、常日頃より職員全体で気をつけられている。接遇についての研修も重ね、プライバシーを損ねない対応を心がけられている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	関わりの中で本人様の思いを知り、声かけなどを行い、希望に沿えるよう支援しています。	好みの飲み物、外出時のメニュー選び、買い物・外出の希望をお聞きしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ドライブや外出、花植え、漬物作りなど日々の生活を支援しています。	利用者一人一人の気分や希望に沿って出来る限り動いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人様と一緒に洋服選びや化粧品の買い物、ひげそりなど支援しています。	本人様と一緒に洋服選びや化粧品の買い物、ひげそりなど支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みのメニューを把握し、提供するよう心がけています。	食器の拭き上げや調理の手伝い、おやつ作りを一緒にして頂いています。	食材の買い出し、魚のさばき、野菜切り、片付け等々、入居者の能力に応じた活躍の場を設けられている。また、同じ食事を職員も一緒に摂りながら、会話を楽しみ、さりげない支援に努められている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量・水分摂取量を毎日記録し、状態管理を行っています。	食事摂取量・水分摂取量を毎日記録し、状態管理を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っています。	毎食後、口腔ケアを行っています。		

自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックシートを記入し、間隔を把握しながら支援しています。	排泄チェックシートを記入し、間隔を把握しながら支援しています。	入居者の排泄パターンを把握し、昼夜ともトイレへの誘導が行われている。安易に紙おむつやパットに頼らないよう、1ヶ月毎に紙おむつやパットの使用状況をあげ、排泄の自立に向けた支援に取り組まれている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の記録を行い、水分の量の確認や食事など食物繊維やヨーグルト・牛乳など工夫しながら、必要な際は看護師と相談し、内服調整を行います。	排泄の記録を行い、水分の量の確認や食事など食物繊維やヨーグルト・牛乳など工夫しながら、必要な際は看護師と相談し、内服調整を行います。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人一人の希望の時間に出来るだけ合わせ、毎日入浴を楽しんで頂けるようにしています。	一人一人の希望の時間に出来るだけ合わせ、毎日入浴を楽しんで頂けるようにしています。時々、ゆず湯やバラなど浮かべていつもと違った入浴も工夫しています。	夕食後の入浴にも対応され、入居者が好まれる時間に、ゆっくり入浴が楽しめるよう工夫されている。窓辺には中庭があり、湯船からの眺めにも配慮されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自由に行動して頂けるように、支援しています。	個別で生活歴などを知り、ご本人に合った状況に合わせ支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬には十分注意し、服薬時には声を上げ確認しています。	服薬一覧表にて、全スタッフが理解し、誤薬がないように、各勤務者で何度も確認するよう心がけています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除・洗濯物たたみをされたり、居室にてテレビを見られたり、CDを聞かれたりして過ごされている。	一人一人の楽しみとしたいことを知り、買い物・編み物・散歩・食事作り・ドライブ等支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人様の思いを考え、自宅への外出やドライブなどの外出支援をしています。	買い物やドライブなど日々の普通の買い物も一緒に行い実行できるよう努めています。	居室の前が広いベランダになっており、自由に出入りができ、日常的に戸外へ出る機会がある。買い物、ドライブ、外食、自宅への帰省等、家族や友人との外出も含め、入居者の希望に添った外出の機会が提供されている。	



自己	外部	項目	自己評価(黒髪)	自己評価(龍門)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が管理されている場合は、おこずかい帳などで管理し、所持したり使えるように支援しています。	本人が管理されている場合は、おこずかい帳などで管理し、所持したり使えるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はご本人様の希望時支援し、お手紙の関しては、季節季節などでスタッフが支援しながら行っています。また、携帯電話を使用されている方もいらっしゃいます。	電話はご本人様の希望時支援し、お手紙の関しては、季節季節などでスタッフが支援しながら行っています。また、携帯電話を使用されている方もいらっしゃいます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング・トイレ・玄関等花を飾り、季節感を出せるよう工夫しています。	季節ごと月ごとに季節を感じて頂けるよう支援しています。	季節ごとの催し物の写真、季節の貼り絵等飾り付けにも工夫されている。明るさ、音等も刺激とならぬよう職員で調節され、思い思いの場所でくつろげるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでの座席の配置を考え、利用者様同士の会話ができるよう支援しています。	冬はこたつ・夏は廊下のベンチやデッキに出て過ごされるような工夫をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた、家具・布団・椅子・仏具などなじみのものを使用しています。	自宅で使用されていた、家具・布団・椅子・仏具などなじみのものを使用しています。	入居者の個性にあった手作りの表札がかけられ、テレビやソファ、仏壇等、思い思いの物が持ち込まれている。家族の写真、好みのポスター等も飾られ、居心地良く過ごせる居室作りに努められている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりやベンチ・ベランダなど安全かつ自力で生活できることなどを考え、工夫しています。また、閉じ込めることのない空間作りにも配慮しています。	手すりやベンチ・ベランダなど安全かつ自力で生活できることなどを考え、工夫しています。また、閉じ込めることのない空間作りにも配慮しています。		